



秋が深まってきました。図書館では、「この秋によむミステリー小説」第二弾として、おすすめする本を別置しています。秋の夜長、ぜひミステリーの世界に。

さて、今、体育科の藪添先生からお借りした村上春樹の『THE SCRAP 懐かしの一九八〇年代』という本を読んでいます。村上春樹といえば、毎年「今回こそノーベル文学賞受賞か！」と村上ファンが固唾を飲んで、発表を見守っている映像がテレビでよく流れます。最近、映画化された村上作品では『ドライブ・マイ・カー』が有名です。この『THE SCRAP 懐かしの一九八〇年代』という本は、アメリカの雑誌から村上春樹がおもしろいと思った記事を切り抜き、日本語で原稿にまとめて、雑誌『スポーツ・グラフィック・ナンバー』（現在も刊行中のスポーツ総合雑誌）に1982年から1986年の4年間連載したものをまとめた本です。

藪添先生いわく「村上春樹の随筆はおもしろいんですよ」の通り、はまっています。小説とは違う村上春樹にぐっと心をつかまれるそんな一冊です。

今年の標語は・・・



読書週間が制定されたのはなぜ？



終戦の2年後の1947年（昭和22年）、まだ戦火の傷痕が至るところに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と決意をひとつに、出版社、取次会社、書店と公共図書館が力を合わせ、さらに新聞・放送のマスコミ機関の協力のもとに、第1回「読書週間」が開催されました。

第1回の「読書週間」は11月17日から23日。これは11月16日から1週間にわたって開かれるアメリカの「チルドレンズ・ブック・ウィーク」にならったものです。各地で講演会・図書に関する展示会が開かれ、その反響は大きなものでした。「一週間では惜しい」との声を受け、現在の10月27日から11月9日（文化の日をはさんで2週間）となったのは、第2回からです。

それから70年以上が過ぎ、「読書週間」は国民的行事として定着し、日本は世界有数の「本を読む国民」の国となりました。その一方、物質生活の豊かさに比べ精神生活の低迷が問題視されている昨今、論理的思考の基礎となる読書の重要性は、ますます高まっています。

本年の「読書週間」が、みなさん一人ひとりの読書への関心と、読書習慣の確立の契機となることを願ってやみません。

（公益社団法人 読書推進運動協議会 HPより）



読書週間のマークのいわれ

その昔、ギリシャ神話の世界で「ふくろう」は、学問・技芸・知恵を司る美貌の女神アテナの使者であり、また、代表的なポリスで文化の中心地アテナイ（アテネ）の聖鳥でもありました。

古代のギリシャ人たちは、賢そうな丸い目ですまし顔の「ふくろう」を知恵の象徴として大切にしたいとします。

森の奥ふかく、静かに瞑想にふけるこの「ふくろう」の姿こそ、読書週間のシンボルマークとしてもっともふさわしいものと考え、読進協では長い間使用してきました。

（公益社団法人 読書推進運動協議会 HPより）

☆☆図書館からのお知らせ☆☆

♪ブックカバーをプレゼント中♪

★ 貸出期限が切れている本を持っている生徒は、返却しましょう。予約が入っている場合があります。

☆ マンガは1晩の貸出となっています。借りた翌日には返却しましょう。



♪♪新しい本がいっぱい♪♪



	書名	著者名	出版社	分類番号
1	夜の訪問者	キューライス	ポプラ社	726.1
2	ようきなやつら	岡田索雲	双葉社	726.1
3	居場所がないのがつらいです	高橋源一郎	毎日新聞出版	159
4	なるには Books 大学学部調べ 芸術学部	浅野恵子	ペリかん社	376.8
5	カラー版 へんてこな生き物(中公新書ラクレ 771)	川端裕人	中央公論社	480.4
6	びっくり 動物園のおしごと大図鑑	DK社(編)	河出書房新社	480.76
7	寝ても覚めてもアザラシ救助隊	岡崎雅子	実業之日本社	489.59
8	料理を彩るパーツアイデア図鑑	柴田書店(編)	柴田書店	596
9	やっぱり食べに行こう。	原田マハ	毎日新聞出版	596.04
10	野菜と果物 すごい品種図鑑	竹下大学	エクスナレッジ	626.11
11	一本の水平線 安西水丸の絵	安西水丸	クレヴィス	726.5
12	尼ヶ崎彬セレクション①利休の黒	尼ヶ崎彬	花鳥社	791.2
13	レッドゾーン	夏川草介	小学館	913.6
14	よみがえる与謝野晶子の源氏物語	神野藤昭夫	花鳥社	913.369
15	恋ふらむ鳥は	澤田瞳子	毎日新聞出版	913.6
16	家裁調査官・庵原かのん	乃南アサ	新潮社	913.6
17	小説すずめの戸締まり(文庫)	新海誠	KADOKAWA	913.6
18	羅生門・鼻(文庫)	芥川龍之介	新潮社	913.6
19	戯作三昧・一塊の土(文庫)	芥川龍之介	新潮社	913.6
20	侏儒の言葉・西方の人(文庫)	芥川龍之介	新潮社	913.6
21	蜘蛛の糸・杜子春(文庫)	芥川龍之介	新潮社	913.6
22	河童・或阿呆の一生(文庫)	芥川龍之介	新潮社	913.6
23	奉教人の死(文庫)	芥川龍之介	新潮社	913.6
24	地獄変・偷盗(文庫)	芥川龍之介	新潮社	913.6
25	和歌浦の風景 -カラーでよむ『紀伊国名所図会』-	額田雅裕(解説)	ニュース和歌山	092
26	城下町の風景Ⅱ -カラーでよむ『紀伊国名所図会』-	額田雅裕	ニュース和歌山	092
27	ふるさと和歌山城	水島大二	ニュース和歌山	059

新しく図書館に入ったマンガ



『きのう何食べた?⑩』
よしながふみ(著)【726.1】

『バトルスタディズ①〜』
なきぼくろ(著)【726.1】

『スキップとローファー①〜⑦』
高松美咲(著) 【726.1】

『ブルーロック⑩』
金城宗幸(著)【726.1】



